

授業科目	文化人類学				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	EN11115J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-3 DP5-1			
担当教員	神原 ゆうこ							
授業概要	<p>本講義では、文化を「人間の生活様式を規定してきたもの」として幅広く考え、現代社会における多様な文化のありかたを考えなおすことを目指します。文化に関する情報は、多様なメディアを通じて世にあふれていますが、概して日本人の視聴者・読者にとって興味深く受け止められるように編集されています。異文化についての学問である文化人類学を学ぶことで、多様な情報に流されず、また自分の限られた経験のみに偏らずに、文化について考えることを目指します。</p> <p>本講義では、家族、社会のありかた、宗教、医療、文化に関する現代の問題といった多様なトピックを扱います。文化というものについての既成概念を問い直すことで、世界と向き合う姿勢をみにつける手がかりを学んでください。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化に関する情報について、自分で判断できる思考力を持つ。 ・異文化に関する社会問題をどのように解決すべきか考える能力を養う。 ・上記の目標を達成するための基礎知識を意欲的に学ぶ。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	30			10	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10					30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	10					20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	20	10					30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						5	5	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-1)					5		5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
文化に関する基礎知識を身に着け、自らの存在を相対化することができる。さらに、講義で学んだ概念を概念を用いて、文章で説得的に自分の考えを説明することができる。				文化に関する基礎知識を身に着け、それを用いて自分の考えを説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:異文化を理解するには世界を理解するための手がかりとして文化とは何かを考えます。			講義 ワークシート		講義内容を復習し、教科書で次回の学習内容を予習すること		60

2	テーマ:伝統的な家族の多様性 家族というものの多様性から文化について考えます。	講義	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
3	テーマ:近代以降の家族・親族関係の変容 私たちが伝統的と考える家族は、近代に形成されたものだったりします。	講義	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
4	テーマ:伝統社会のなかの政治のはじまり 多様な家族形態はその文化における社会のありかたの基礎です。	講義	これまでの講義をしっかり復 習し小テストに備えること。	60
5	テーマ:互酬と社会 現在にいたるまで、人間社会を支える互酬について考えます。	講義 小テスト	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
6	テーマ:「伝統文化」のせめぎあい 現代の世界において「伝統文化」はどのように認識されているでしょうか。	講義	これまでの講義をしっかり復 習し小テストに備えること。	60
7	テーマ:ジェンダーと「伝統文化」 現代社会において「伝統文化」と普遍的価値観の対立はどのように扱われるでしょうか。	講義 小テスト	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
8	テーマ:儀礼と世界観 世界各地にどうしてさまざまな儀礼があるのでしょうか。儀礼からその文化の世界観、宗教観について考えます。	講義	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
9	テーマ:不幸への対処としての呪術 迷信だと考えられがちな呪術がどうしてなくなるか考えます。	講義	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
10	テーマ:宗教と文化 宗教とは何でしょうか。第8回以降の授業を振り返り、宗教と文化の結びつきについて考えます。	講義 ワークシート	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
11	テーマ:政教分離と世俗化 現代社会における宗教の扱いとその問題点について学びます。	講義	これまでの講義をしっかり復 習し小テストに備えること。	60
12	テーマ:医療と文化 医療と宗教の関係、および身体にかかわる文化的な対応の相違について考えます。	講義 小テスト	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
13	テーマ:文化を知ることの権力 そもそも異文化を私たちが容易に知ることができるのは、どのような条件がそろっているからでしょうか。	講義	講義内容を復習し、教科書で 次回の学習内容を予習すること	60
14	テーマ:多文化共生の二面性 多文化共生という言葉はよく耳にします。その現実を掘り下げて考えてみましょう。	講義 ワークシート	講義内容を復習し、そろそろ 試験に備えて、全範囲を復習 し始めること。	60
15	講義のまとめ 多様なトピックにわたった本講義を振り返ります。	講義	これまでの講義をしっかり復 習し試験に備えること。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	試験や小テストは記述式です。学んだことや自分の考えを分かりやすく文章にする能力があると望ましいです。			
テキスト	川口幸大 2017「ようこそ文化人類学へ」昭和堂 このほか必要に応じて資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	綾部恒雄・桑山敬己 2006『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房 奥野克己(編) 2005『文化人類学のレッスン』学陽書房 本多俊和ほか 2011『グローバリゼーションの人類学』放送大学教育振興会 春日直樹(編)2008『人類学で世界をみる』ミネルヴァ書房 そのほか講義中に紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	高校レベルの世界史、地理、現代社会の知識はあったほうが望ましいです。自信がない受講生は復習しながら受講してください。留学経験がある受講生は、自分の体験を参照しながら受講すると理解が深まります。			
達成度評価に関するコメント	小テスト3回、試験のほか講義中に取り組むワークシートの出来、講義中の発言などを総合的に評価します。			